

## 大学共同利用機関法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の認定について

## 1. 概況

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」として、4 法人から以下のとおり 8 ユニット・24 件の中期計画について申請があった。

各法人の申請調書では、機能強化の方向性を明確に掲げる中期計画や、高い目標を掲げる中期計画が挙げられており、各法人が自らの特色ある活動や高い目標を積極的に中期目標・中期計画に反映した様子がうかがえる。

申請法人数	ユニット数	中期目標数	中期計画数	全中期計画数
4	8	17	24	325

## 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の概況

各法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」調書では、研究者コミュニティへの貢献、大学の機能強化への貢献等に資する以下のようなテーマの中期計画が見られた。

## 法人の枠組みを越えた異分野融合・新分野創成の戦略的推進・人材育成

- ・新たな国際共同研究拠点の形成（アストロバイオロジーセンターなど）
- ・最先端の研究環境を活用した人材育成及びデータサイエンティスト等の育成 など

## 共同利用・共同研究で得られた成果の可視化・発信などの IR 機能の強化

- ・人文系諸分野の学術的評価方法の確立
- ・大学の機能強化への貢献度を可視化 など

## 2. 「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の具体例

### (1) 「法人の枠組みを越えた異分野融合・新分野創成の戦略的推進・人材育成」の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の例

#### 自然科学研究機構

ユニット名：組織改革及び研究システム改革の戦略的推進による新たな国際的共同研究拠点の形成

概要：新たな国際的共同研究拠点の創設を、第2期に開始した機構の組織改革及び研究システム改革の戦略的推進（研究基盤戦略会議による組織再編・資源配分の方針策定及び評価）と併せて、アストロバイオロジーセンターにおいて重点的に推進することにより、異分野融合による真の国際的共同研究拠点の形成を実現する。

中期計画：アストロバイオロジーセンターにおいて、第一線の外国人研究者の招へい、若手研究者の海外派遣に取り組むとともに、大学等と連携して国際的かつ先端的な共同利用・共同研究を推進し、当該分野の国際的研究拠点を形成する。

#### 情報・システム研究機構

ユニット名：データ共有支援、データ解析支援、データサイエンティスト育成の三位一体の活動による大学におけるデータ駆動型研究の促進

概要：生命科学、地球環境、人間・社会分野の各領域の大規模データ共有支援と高度な分野横断型データ解析支援及びデータサイエンティスト育成を行う。これによって、大学等におけるビッグデータを活用した研究を活発化させ、我が国におけるデータ駆動型の研究と異分野融合を促進し、大学の研究力強化に貢献する。

中期計画：機構の優れた研究環境と共同研究や研究支援の場を活用して、データサイエンスの推進に貢献できるⅠ型・Ⅱ型の若手研究者や女性研究者及び社会人実務者を育成する体制を整備するため、データサイエンティストのキャリアパス形成に適した制度や評価に関する調査を平成29年度までに実施し、平成30年度に報告書を公開することにより大学等における環境整備に資する。

統計数理研究所においては、統計思考力育成事業の将来構想について検討するため、機構外の有識者を含む委員会を平成28年度に設置し、毎年度開催することにより、統計思考力を持った人材の系統的な育成に活用していく。

データサイエンス共同利用基盤施設に設置するセンター及び統計数理研究所統計思考院においては、若手研究者を雇用し、事業への参画を通じて実践の場でデータサイエンティストを育成する。

(2)「共同利用・共同研究で得られた成果の可視化・発信などの IR 機能の強化」の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の例

**人間文化研究機構**

ユニット名：研究資源の一元的かつ国際的な情報発信の推進及び新たなキャリアパスの構築による大学等研究機関への貢献

概要：学術的要請に応じて人間文化研究に関する資料や成果等の研究情報の発信を推進し、かつ社会的要請に応じて人間文化研究に関する成果を広く公開するために、機構本部に「総合情報発信センター」を設置する。同センターにおいて、機構内の諸機関の研究情報はもとより、法人の枠を越えて国内外の多様な大学等研究機関と連携し、国際的な研究情報の発信を行う。また、人文機構研究員を雇用し、人文系の新たなキャリアパスとして人文系サイエンスコミュニケーターを養成する。

中期計画：「総合情報発信センター」は、共同利用状況に関する情報を収集・分析し、グローバル・リポジトリ事業、国際学術リンク集の構築、英語ウェブマガジン等の刊行等の重点事業を実施するなど、研究成果を戦略的かつ効果的に発信する体制を整備・運用する。また、情報学系分野の研究者と共同で、人間文化研究の研究活動や学術成果の新たな評価手法を開発し、他大学における人文系諸分野での活用に供することにより、人文系諸分野の学術的評価方法を確立する。

**高エネルギー加速器研究機構**

ユニット名：国際的な共同利用実験の推進による成果の創出と大学の人材育成への貢献並びに共同利用のはたす役割の情報発信

概要：我が国の加速器科学の国際拠点として、国内外の大学等による共同利用実験等（Bファクトリー、放射光、J-PARC など）を推進し、国際的に最高水準の研究成果を上げることで、人類の知的資産の拡大に貢献していくほか、共同利用実験を通して大学における人材育成に積極的に貢献する。更に共同利用実験で得られた成果を把握、公表するとともに、大学等への貢献度などその役割を情報発信する。

中期計画：各共同利用課題について、課題の申請から研究成果の公表までを把握する研究成果管理・解析システムを平成29年度までに整備するとともに、論文化されない研究について、研究成果を公表する方法を検討し、導入する。

### 3. 大学共同利用機関法人分科会における審議

平成28年1月22日開催の大学共同利用機関法人分科会（以下「分科会」という。）において、各法人から提出された「戦略性が高く意欲的な目標・計画」について、以下の認定の方針（平成27年11月6日開催の国立大学法人評価委員会で承認）に基づき、審議を行った。

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の可否を認定するにあたっては、以下の趣旨を踏まえ、原則としては各法人の申請内容を最大限尊重するものとする。

- 法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの
- 取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの
- 法人の機能強化に向けて法人の強み・特色を一層明確化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの

また、以下の点についても確認を行っている。

申請する個々の中期目標・中期計画が「認定の方針」に示す3つの観点のうち少なくとも1つに該当する「戦略性が高く意欲的」なものである必要があるか。また、該当すると考える理由を以下〈 〉内に示す観点が分かるように記載されているか。

- (A) 法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの  
〈取組内容について、「全国初である」「全国でも数少ない」など、その希少性が分かるよう記載されているか〉
- (B) 取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの  
〈数値目標について、他法人あるいは自法人の現在までの状況との比較を用いるなどして、それが「かなり高い数値目標」であることが分かるよう記載されているか〉
- (C) 法人の機能強化に向けての法人の強み・特色を一層明確化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ（※）取り組むもの  
〈各法人の機能強化に向け、機構内外の人的・物的・金銭的資源の再配分を行うものであることが記載されているか。また、達成目標について、他法人あるいは自法人の現在までの状況との比較を用いるなどして、それが「高い水準」であることが分かるよう記載されているか〉  
※「高い水準の達成目標を掲げ」る方法には、定量的な指標（数値目標）の設定に限らず、明確な達成状況の記述や、具体的なプロセスを示すこと等も想定される。

なお、従前から大学共同利用機関で行われている共同利用・共同研究に係る目標・計画についても、法人として上記の趣旨を踏まえ、申請する場合、認定することもある。

これらを踏まえ、分科会において審議した結果、申請があった全ての「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の認定については、分科会として特段の意見はなかった。

#### 4. 留意点

「戦略性が高く意欲的な目標・計画」については、達成状況のみを評価の対象とするのではなく、その状況にいたるまでのプロセスや内容を評価することとしていることや、今回申請があった「理由」に具体的な取組等を記載しているケースがあるため、今回認定する「戦略性が高く意欲的な目標・計画」の評価にあたっては、各法人の質的向上を促す観点からも「理由」に記載されている取組等も併せて考慮することが適当ではないか。